



都城市 成人式

二十歳の門出。
新たな誓いを胸に



本市では、1月3日から13日にかけて成人式が開催され、1,639人（男性813人、女性826人）が大人の仲間入りをしました。式典は、各地区の新成人の代表者らが進行。趣向を凝らした催しなども用意され、会場は和やかな雰囲気になりました。今回は、毎年恒例となっている地区ごとに行われた成人式の様子や、新成人の声を紹介します。

手作りの成人式

新成人の代表と地域の人たちが実行委員会を組織して、企画・運営する本市の成人式。自治公民館長や学校関係者をはじめとする地域の人たちの協力を得ながら、参加者の思い出に残る成人式が開催され、新成人の門出を盛大に祝いました。

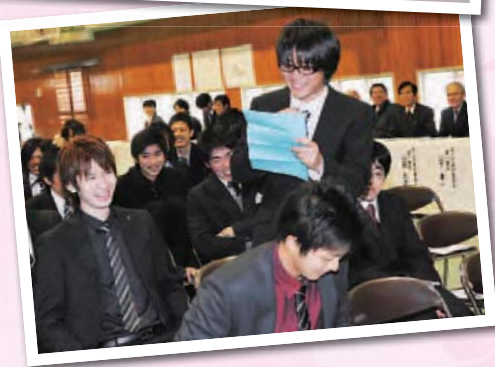
二十歳の君へ

お世話になった人たちへの感謝の気持ちを胸に迎えた成人式当日。各会場では、恩師や旧友との再会を喜ぶ姿が見られたほか、限られた時間を惜しむように写真撮影を行う姿が見られました。

式典では、これから自分の果たすべき役割と未来へ向けての決意を述べた「新成人の主張」が行われ、成長した新成人の頼もしい姿が見られました。

祝吉地区では、中学卒業のときに5年後の今の自分に宛てた手紙「二十歳の自分へ」を代表者が披露。何を書いたのか忘れてしまったその中身を恐る恐る確認すると、それは、学校生活や部活動での出来事のほか、友人との楽しい思い出、未来の自分へのエールをユーモラスにしたためたものでした。

また、西岳地区では、中学卒業時の担任が新成人一人一人に成人証書を授与。先生の緊張した様子とは裏腹に、新成人はにこやかな表情で成人証書を受け取っていました。



大人の仲間入りをした君たちへ

式典では、池田市長が「皆さんは、今日まで家族の愛情をいっばいに受けて成人式を迎えることができました。これから皆さんが生活していく社会は、決して甘いものではありません。社会の一員として行動するということの自覚が必要です。そのためには家族や周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、地域の行事などにも参加してほしい。そして、無限の可能性を信じて努力してほしい。その姿勢が将来、必ず地域の、ひいては日本の力になります」とエールを送り、成人証書を授与しました。

都城きりしま
支援学校
ともや
関 誠也さん
(梅北町)

20歳になり少しずつ大人になっていくのを感じています。今まで育ててくれた両親や学校の先生、友だちに感謝し、これからは自分のことは自分でできるようにしたいです。



【山之口地区】
永野 麻衣子さん
(山之口町)
学 生

実行委員会の人みんなでアイデアや意見を出し合い、手作りの成人式を企画しました。多くの人たちの協力で、無事成人式を終えることができました。喜びを分かち合うことができました。



【妻ヶ丘地区】
吉村 真一郎さん
(広原町)
学 生

成人式を迎えて、大人の仲間入りをしたと実感しています。今、日本はいろいろな問題が山積していますが、成人した仲間と力を合わせて乗り越えていきたいと思います。



【小松原地区】
瀬戸 直樹さん
(志比田町)
会社員

実行委員長として、貴重な経験をさせてもらいました。一緒に頑張ってきた仲間や地域の人たちに感謝の気持ちでいっぱい입니다。これまで迷惑をかけた両親に恩返ししたいです。



【祝吉地区】
ともひろ
原澤 朋宏さん
(祝吉三丁目)
学 生

成人式を迎え、大人になったことを実感しています。実行委員長の役割はつらいこともありましたが、みんなの協力で心に残る成人式にすることができました。



【高城地区】
ひろと
兵頭 大翔さん
(高城町)
学 生

成人式を迎え、不安もあるけど夢への希望も感じています。実行委員長としてみんなをまとめることの難しさを痛感しましたが、やり遂げた後の達成感は大きなものでした。



【西岳地区】
ふゆみ
野崎 冬生さん
(吉之元町)
会社員

地域の人たちと共に式典の準備をしたり、実行委員でいろいろなことを企画したりするうちに、大人になることの責任や自覚を持ちました。



【五十市地区】
古澤 佑樹さん
(平塚町)
学 生

社会人としての自覚を持ち、責任ある行動を心掛けたいと思います。これからの学生生活や就職活動でも、今回実行委員長を務めた経験を生かしていきたいです。



新成人が生まれた 20年前はこんな年

新成人者が生まれた1992年は、双子の100歳の姉妹「きんさん、ぎんさん」が話題になり、二人の笑顔に日本中が癒やされました。その他に、バルセロナオリンピックが開催され、当時中学生だった岩崎恭子選手が史上最年少で金メダルを獲得するなどの話題がありました。

国内の出来事

- 4月 千葉市が12番目の政令指定都市に移行
- セビリア万博開幕
- ユーゴスラビア社会主義連邦共和国解体
- 9月 全国の公立学校で、毎月第2土曜日を休業日とする月1回の学校週5日制が始まる
- 10月 有効求人倍率が1・0を下回り、この後平成13年まで「就職氷河期」と呼ばれる
- 11月 沖縄県那覇市首里に首里城が復元される
- 3月 福岡ドームが完成

【中郷地区】
あつのり
新地 功学さん
(梅北町)
学 生



今の日本には経済不況や環境問題など、私たち若者が解決しなければならぬ問題があります。これから自覚と責任を持ち、社会貢献できるような力を尽くしていきたいです。

【山田地区】
内村 翔太さん
(山田町)
会社員



一生に一度の思い出ができました。始めはできるかどうか不安でしたが、実行委員や友人の手助けがあつて無事成人式を終えることができました。

【姫城地区】
はるき
神坂 春貴さん
(下長飯町)
飲食業



初めて大規模なイベントの企画に携わりました。分からないことばかりでしたが、実行委員の仲間と協力してやり遂げることができたので、楽しい思い出になりました。

【沖水地区】
くんべい
宮元 薫平さん
(郡元四丁目)
学 生



いよいよ20歳になり、これからの自分にワクワクしています。成人式を一緒につくり上げた同級生みんなや、地域の人たちに感謝しています。

【志和池地区】
まさし
池田 昌史さん
(下水流町)
学 生



式典を企画・運営することの難しさを感じましたが、たくさんの人たちの支えがあるからこそできることだと感じました。協力してもらった皆さんに感謝します。

【庄内地区】
大村 将太さん
(関之尾町)
飲食業



これまで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。今回の成人式では、みんなの心を一つにまとめることの難しさを学び、とてもいい経験ができました。

【高崎地区】
竹元 萌さん
(高崎町)
学 生



大人の仲間入りをした実感はまだ湧きませんが、成人式を終え身の引き締まる思いです。先輩たちのアドバイスや協力で、思い出に残る成人式になりました。

【横市地区】
しゅん
小妻 淳さん
(都原町)
学 生



戸惑いもありましたが、みんなが積極的に役割を引き受けてくれたので、スムーズに進めることができました。式典ではみんなに楽しんでもらうことができました。

市内の出来事

- 4月
 - ・明和小学校が開校
- 山之口町人形の館が完成
- 6月
 - ・山田町でオフトーク通信始まる
- 7月
 - ・高崎町にたちばな北斗ハウス完成
- 7・8月
 - ・全国高等学校総合体育大会開催
- 12月
 - ・都城トラック団地が完成

流行した音楽

- 米米CLUB
- 「君がいるだけで」
- 大月みやこ
- 「白い海峡」
- サザンオールスターズ
- 「涙のキッス」
- 中山美穂
- 「世界中の誰よりきっと」
- 森高千里
- 「私がオバさんになっても」

流行語

- 「今まで生きていた中で一番幸せです」
- 「こけちゃいました」
- 「宇宙からはいつさい国境は見えません」
- 「分煙」